

住みやすい一宮！住んでみたい一宮をめざして！！

～『いちにこカフェ』を拠点とした生きがいくりと

住民主体の活気ある地域づくり～

雲南市（三刀屋町）一宮自主連合会

1 一宮地区の概要

- ・雲南市三刀屋町の「北」に位置する一宮地区
- ・人口：一宮地区 1,960人
- ・世帯数：530戸
- ・高齢化率：34.4%
- ・地区：給下・伊萱・高窪・古城の4地区
- ・学校：三刀屋小学校、こども園
- ・名所：峯寺、三屋神社、松本古墳群



配食サービス事業



移動販売車運行事業



2 事業の趣旨

高齢者の生きがいくりや健康づくりは、当地区に限らず、多くの地域で課題になっている。また、地区計画策定のためのアンケート結果から見られるように、「地域づくりは住民相互の交流・つながりが必要である」との意見が多かったことから、「互いに顔を見ながら」「声を掛け合いながら」活気ある地域づくりを進めている。

そのために、一宮独自の配食サービスによる見守り支援を行いつつ、そこでの声掛けをきっかけとしてたくさんの高齢者の方にサロン等に来ていただくように促し、参加してもらうことで見守り活動に繋げていきたい。

さらに、高齢者だけでなく、若い世代も集まれるよう地域住民の語らいの場『いちにこカフェ』を立ち上げた。

3 具体的な取組内容

(1) 一宮地区配食サービス事業開始

利用者認定会議・弁当業者との打合せ・ボランティア会議等を開催し、スタート。

現在10人の利用者があり、5人の地域ボランティアにお世話になっている。

(2) 移動販売車運行事業の拡大

昨年度1地区7自治会から運行スタートしている移動販売車だんだん号を今年度拡大運行し、現在3地区13自治会で実施。

(3) 『いちにこカフェ』立ち上げ

毎月12日 10:00～14:00 開店

メニュー：コーヒーセット 200円

いちにこカフェ



手作りケーキでおもてなし



スタッフによる紙芝

作品展示を見学



園児の参加



在宅児の居場所



地域の方の作品：レザークラフト



サークル活動展示：川柳



保護者の参加



赤ちゃん連れのお母さんも来店
地域の高齢者との交流

4 評価と成果

成果としては①地域の高齢者だけでなく、若い世代も楽しく集う場が出来たことが一番ではあるが、そこに関わる地域ボランティアの参加意識や自ら運営するという機運が高まっていること。②カフェに展示用の作品を提供していただいている地域の方から皆さんに見てもらえて喜んでいる、作品製作に生きがいを感じるようになった・・・等の声が聴かれるようになったこと。③交流センター隣にある「三刀屋子ども園」の保護者が送迎の合間にカフェスペースでくつろぎ保護者同士のおしゃべりの場となる。があげられる。以上のことから、少しずつではあるが、地域の高齢者から、子育て世代の若い方がそれぞれつながりを持つことで、自ら地域活動に参加し、自ら地域を守り、そこに生きがいを感じる気持ちが育ちつつあるという確かな手ごたえがあった。

5 今後の課題と見通し

今後も、住みやすい一宮！住んでみたい一宮をめざして！！活動を継続していくことが大きな課題である。それぞれの事業に対し、参加者はもちろんのこと、地域活動を支えるスタッフ、地域ボランティアの力は大きいですが、支える者もまた高齢化していることが現実である。そういった中で、「いちにこカフェ」を立ち上げにより、文化サークル等団体の活躍の場を提供し、作品展示の機会を増やすことができたことから、地域を支える世代の地域活動への参加意識の高揚と、生きがいの創出につながった。さらに、子育て世代が地域とつながる機会となったことで、ボランティアとしての参加もあり、世代間交流の場となったことは、今後、若い世代が、自ら地域を守り、一宮に住み続け、地域を支える土台となるであろう。

(文責：事務局次長 須山幹子)